

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和元年度事業 点検・評価調書

4-I-5

4-I-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	案内標識の設置
節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	<b>5 案内標識等のルール確認、整備、充実(国・県道)</b>	事業主体	佐渡地域振興局地域整備部
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡地域振興局企画振興部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課、佐渡市建設課
事業概要	<p>【事業目的】 ○来訪者の円滑な移動に向けて、案内標識の整備の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 ○構成資産へ来訪者を適切に誘導するため、関係機関が連携しながら、国・県道の案内標識に関する整備方針の検討、基準の確認、占用協議等を行ったうえで、道路案内標識等の整備充実を図る。</p>		
R元事業計画と実績	<p>【元年度計画】 ●遅れている案内標識の表記ルールについて、佐渡市世界遺産推進課ほか関連団体と協力し、年度内決定を目指す。</p> <p>【元年度実績】 ●佐渡市から提供された広域誘導ルート案を元に、青標識、白標識について地域整備部で素案を作り、関係団体と協議を行った。表示は「史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画」で広域動線計画として指定する施設名・エリア名のみとする表記ルールで合意した。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 ■表記ルールについては合意したことから、個々の表記する名称について利害関係者と調整のうえ早期に決定し、必要な修繕・整備に着手しなければならない。また、世界遺産登録後も見据えた議論も必要となる。</p> <p>【今後の取組】 ■早期に妥協点が得られるよう、関連団体との調整を進め、改善が必要となる標識のボリュームを確定し、整備を進めていく。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 [ a (b) c ]</p> <p>【事業実施の効果】 [ a (b) c ]</p> <p>【総合評価】 [ A (B) C ]</p> <p style="text-align: right;">◇関連団体が一堂に会して打合せを行い、課題や方向性の確認が出来た。表記ルールについて、一定の進展がみられたことから、Bとする。</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。